

中心市街地の復興の方向示す 中心市街地地区復興まちづくり事業説明会

市では、被災市街地復興推進地域として指定した中心市街地地区の一部（新温泉周辺）について、6月30日に土地区画整理事業の都市計画を決定。今後の復興まちづくり事業の進め方などの説明会を、8月20日に市役所で開催しました。地域住民ら約60人が参加。

説明会では、地域住民や事業者らでつくる推進協議会を立ち上げて市からの提案を検討してもらったことや、山田川堤防強化と連携した避難路・避難地整備や宅地の利用増進、賑わい創出などの案を示しました。



今後は測量業務を開始し、復興まちづくり事業を進めていく

飲んで食べて夏を楽しむ HITONOWAマーケット×100円焼酎マルシェ

豪雨災害で被災した建物が解体され、さら地となった土地の利活用を探る社会実験「人吉紺屋町HITONOWAマーケット」と、「100円焼酎マルシェ」が8月6日に合同で開催されました。

同マルシェは8月8日の「球磨焼酎の日」に合わせ開催されたもので、昨年に続き2回目の開催。27歳元、約30種類の焼酎などが1杯100円で販売されました。会場の人吉復興コンテナマルシェとその周辺は、焼酎や食事を楽しむ来場者で大いにぎわいました。



お気に入りの焼酎を購入する来場者

地元で働きたい若者のために 株式会社エービーケーエスエス立地協定

製造や建築分野でのIT（情報技術）の導入支援事業を展開する株式会社エービーケーエスエス（大阪府大阪市）が本市に事業所を新設するため、7月26日、市役所で立地協定調印式を行いました。同社は、令和2年7月豪雨時に本市の被災地支援をしたことをきっかけに進出を決定。上薩摩瀬町でIT導入支援についてのコールセンターを運営します。

同社は地元で5人の雇用を予定している、杉原代表取締役は「若者が人吉で働ける職場環境づくりをしたい」と話しました。



コールセンターの営業開始は令和5年1月を予定

くまりばの魅力詰まった1日 osoto Hitoyoshi Festival

「くまりば」内のコワーキングスペース「オソトヒトヨシ」の3周年を記念したイベントを、7月30日に開催しました。くまりばでは施設内覧会を行ったほか、館内外に飲食ブースや雑貨などの物販ブースが並び、ヤギとのふれあいやキッズネイムなどさまざまな体験プログラムも。踊りや音楽の演奏などのステージも盛り上がりました。

夏休み限定で設置されたスケートボードパークでは、プロスケーターの滑りが披露されたり、スケボー教室が開催されたりと注目を集めていました。



被災地支援の一環として設置されたスケートボードパーク

旅館の大広間を避難所に 災害時の施設使用等の協力協定締結式

鍛冶屋町で旅館を営む有限会社丸恵本館と本市は、「災害時の施設使用等の協力に関する協定」を締結しました。市が設置する指定避難所に避難することが困難な場合、避難者の安全確保のため旅館の一部を一時避難所として開放するものです。

同社は鍛冶屋町内会独自の自主避難所と垂直避難所としても災害時に施設を開放するとしていて「災害は無いに越したことはないけれど、万が一のとき、地域の役に立てばうれしい」と同社代表取締役の馴田崇晴さんは話しました。



丸恵本館の馴田さんと松岡市長

スポーツって楽しいな！ 総合型地域スポーツクラブ体験教室

総合型地域スポーツクラブ「カルヴァーリョ・ラッソ人吉」の体験教室を、7月30日にスポーツパレスで開催しました。園児から大人まで約20人が参加し、ハンドボールやレクリエーション、硬式テニスなどの中から3種目を選んで体験。参加した人吉東小4年の佐々木成仁くんは、「ハンドボールでいろいろな角度からシュートが入って楽しかった」と話していました。

同クラブはいつでも会員を受け付けています。詳しくは同クラブ事務局（☎22・7028）にお問い合わせください。



ジュニアソフトテニスでボレーに挑戦！

勇壮な太鼓で被災地にエール！ 人吉球磨復興応援 和太鼓コンサート

東日本大震災以降、被災地の支援活動や復興応援イベントを行う大阪府和泉市のNPO法人いずみ太鼓が、7月31日にカルチャーパレスで和太鼓コンサートを開催しました。同団体は令和2年7月豪雨災害後、本市や球磨村の支援活動を行っています。

ステージには地元の太鼓団体などをはじめ、和太鼓グループ・いずみ太鼓聖泉や関西を中心に活動する和太鼓奏者らが出演。和太鼓の勇壮な響きとエネルギーギッシュなパフォーマンスに、大きな拍手が起りました。



チケットとグッズ売上の一部は人吉市と球磨村に寄付された

3年ぶり間近に見る大輪の花 第67回人吉花火大会

人吉花火大会を8月15日に開催しました。雨が降ったり止んだりというあいにくの天気でしたが、今年も3年ぶりに観覧場所を設けて開催。観覧場所のふささと歴史の広場には出店が並んで浴衣姿のお客さんも多く見られ、久しぶりにお祭りムード一色になりました。

打ち上げが始まると徐々に雨も上がり、復興を願う約3千発の花火が夜空を彩りました。会場に行けない人のために、昨年引き続きインターネットで花火のライブ配信も実施。約5千人が視聴し好評でした。



中川原公園から打ち上げられ球磨川を照らす花火